

第7章 学校・家庭・地域との連携

1. コミュニティ・スクールの導入

(1) 目的

これまで学校が育んできた信頼関係のもと、保護者・地域住民等が学校運営に参画することで、学校と保護者・地域住民等が一体となって、教育活動の改善や児童生徒の健全育成に継続的に取り組む。

また、学校と保護者・地域住民等の連携・協働で実施する地域学校協働活動により、学校の教育活動の充実を目指すとともに、地域人材の有効活用や将来の地域の担い手の育成、学校を中心とした地域ネットワークの形成により、地域活性化を図る。

※コミュニティ・スクール（CS）とは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律 47 条の 6 に基づき学校運営協議会を設置した学校のこと

(2) 「としまの教育」の強みを生かしたコミュニティ・スクールの5つの特徴

① 学校と保護者・地域住民等が一体となった、子どもたちを育む体制づくり

これまでの信頼関係をもとに、保護者・地域住民等が学校運営に参画し、学校と一体となって子どもたちを育む体制を構築する。

② これまでの活動を生かしたコミュニティ・スクール

学校運営連絡協議会やインターナショナルセーフスクール（ISS）地域対策委員会を通じて、これまで学校と保護者・地域住民等が育んできた信頼関係を生かしたコミュニティ・スクールを実現する。また、学校と保護者・地域住民等が協働で取り組み、学校運営に参画する類似点がある ISS 活動を内包してコミュニティ・スクールを推進する。

③ ビジョンの共有と持続可能なPDCA サイクル

学校と保護者・地域住民等が同じ目標に向かって活動するため、学校運営の基本方針を共有し、教育活動や地域学校協働活動、学校評価の実施などにより、持続可能なPDCA サイクルを構築する。

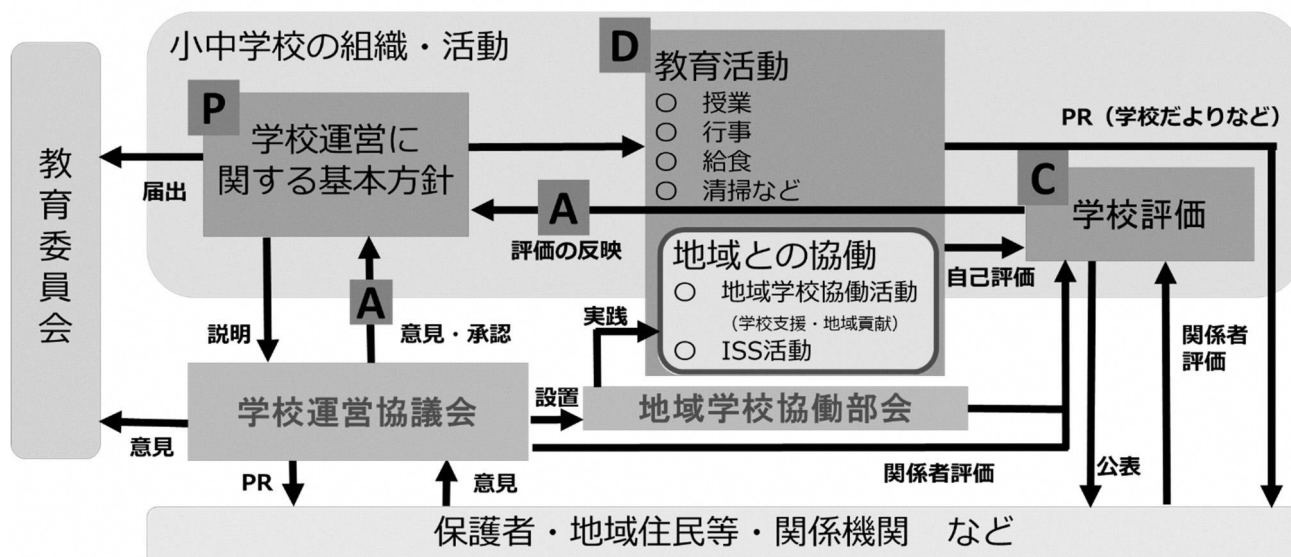
④ 学校と保護者・地域住民等の連携・協働による、双方向の地域学校協働活動

学校と保護者・地域住民等が連携・協働し、双方向による地域学校協働活動を推進する。

⑤ 将来の地域の担い手を育むコミュニティ・スクール

児童生徒の発達段階に合わせて、地域学校協働活動の比重を「学校支援活動」から「地域貢献活動」へ移すことで、将来の地域の担い手を育み、学校を中心とした地域ネットワークの形成、地域活性化を図る。

【豊島区コミュニティ・スクールの組織体制とPDCA サイクル】



(3) コミュニティ・スクールの魅力

① 学校にとっての魅力

- ・地域の力や多様な人材の専門性を生かした学校運営等の実現
- ・学校の課題に対して、保護者や地域住民等と一緒に対応することができる。
- ・子どもに向き合う時間、質の高い授業づくりのための時間の確保
- ・ISS の取組を継続することによる安全・安心な学校づくりの実現

② 地域住民等にとっての魅力

- ・経験を生かすことで生きがいややりがいにつながる。
- ・学校を中心とした地域ネットワークが形成され、地域活性化につながる。
- ・将来の地域の担い手を育むことができる。

③ 保護者にとっての魅力

- ・学校や地域に対する理解が深まる。
- ・地域の中で子どもたちが育てられているという安心感が高まる。
- ・保護者同士や地域の人々とのつながりが強まる。

④ 子どもにとっての魅力

- ・子どもたちの学びや体験活動が充実する。
- ・地域の担い手としての自覚が高まる。
- ・ISS の取組を継続することによって、安全・安心な学校生活を過ごすことができる。
- ・地域に見守られている安心感が高まり、地域愛が育まれる。

(4) コミュニティ・スクールの機能

① 熟議

子どもたちがどのような課題を抱えているのかという実態を共有するとともに、地域でどのような子どもを育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンを共有するために「熟議（熟慮と議論）」を重ねることが大切である。

- i) 多くの当事者（学校と保護者・地域住民等）が集まって
- ii) 課題について学習・熟慮し、議論をすることにより
- iii) 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに
- iv) それぞれの役割に応じた解決策が洗練され
- v) 個々人が納得して自分の役割を果たすようになる

② 協働

「熟議」の実施を通して、学校と保護者・地域住民等の信頼関係を構築し、学校運営に保護者・地域住民等が「参画」し、共通の目標に向けて「協働」して活動していくことが重要である。

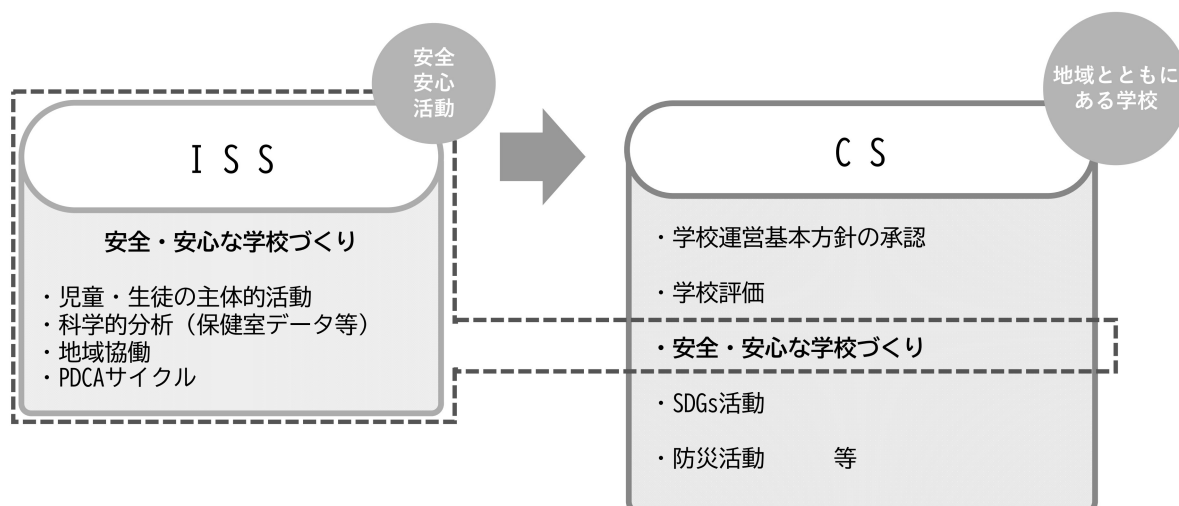
③ マネジメント

中核となる学校は、校長のリーダーシップのもと、目指すべきビジョンの達成に向かって学校内の組織運営を管理することにとどまらず、保護者・地域住民等との関係を構築し、地域人材や資源等を生かした学校運営を行っていく必要がある。

(5) コミュニティ・スクールとインターナショナルセーフスクール（ISS）活動

- コミュニティ・スクール導入校はより安全・安心な学校運営のため、ISS 活動（児童生徒の主体的な活動、科学的アプローチによる体と心のケガの予防、地域との協働による安全・安心活動、PDCA サイクルの構築）を内包して、コミュニティ・スクール活動に取り組む。
- これまでの ISS 活動で培った「安全・安心な学校づくり」を全校で実践するとともに、SDGs 活動、防災活動など、新しい視点を取り入れたCS として、学校、地域の協働により持続・発展させていく。

【これからの安心・安全な学校づくり】



(6) コミュニティ・スクール導入校の拡大

豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会における検討を経て、「豊島区コミュニティ・スクール推進ガイドライン」を作成した。今後は、令和8年度までに豊島区内小・中学校全30校で導入していく。

(7) 実績（令和6年4月1日現在）

導入校：池袋本町小学校、千登世橋中学校、仰高小学校、高南小学校、池袋中学校、清和小学校、
 朋有小学校、さくら小学校

導入準備校：池袋第一小学校、富士見台小学校、千早小学校、西巣鴨中学校、千川中学校

2. PTA 活動支援

(1) 概要

小・中 PTA 連合会と連携して各種研修会や事業等を実施し、PTA 活動の円滑な運営と子どもたちの健全育成を図る。保護者に任意団体である PTA 活動の理解・協力を得られるよう周知・啓発に取り組んでいる。

(2) 実績

□ 令和 5 年度活動実績

開催日	事業名	場所	主な内容
4月15日(土)	小・中 PTA 会長研修会	豊島区役所 本庁舎 5 階 507～510 会議室	・研修「コロナ後の PTA 活動について」 ・情報交換
6月17日(土)	中 P 連講演会（午前）	としま区民 センター	「不登校における親子のコミュニケーション～思春期の子供と向き合うには～」 東京学芸大学 教育学部 教育心理学講座 教授 松尾 直博 氏 参加者 43 名
	中 P 連役員分科会（午後）	としま区民 センター	活動報告、意見交換
	小 P 連合同ブロック会	としま区民 センター	活動報告、意見交換
7月8日(土)	中 P 連「親善スポーツ大会」	豊島体育館	5 校参加
9月23日(土)	中 P 連「親善バレーボール大会」	豊島体育館	8 校参加
10月28日(土) 12月16日(土)	小 P 連「親善バレーボール大会」	豊島体育館 雑司が谷体育館	20 校参加
11月5日(日)	小 P 連「親子ソフトボール大会」	池袋本町 小学校・ 池袋中学校・ 明豊中学校	16 校参加
11月18日(土)	第 60 回音楽のつどい	豊島区立 芸術文化劇場	15 校参加と中 P 連有志団体が参加
1月25日(木)	中 P 連と教育委員会事務局との懇談会	豊島区役所 本庁舎 8 階 レクチャールーム	外国籍ルーツの児童生徒対策、不登校対策について

3. 家庭教育推進員事業

(1) 概要

昭和54年度から続く豊島区独自の事業である。豊島区立小学校PTA会長の推薦を受けた「家庭教育推進員」が年6回ゼミ形式でテーマに沿って学習を進める。子育て世代同士が継続して学びあい、その成果を同じ立場の方々に伝え、家庭や地域での教育力を高めることが目的である。新たに「としまPゼミ」という愛称で始動し、事業の明瞭化や認知度を高める効果を図った。

東京都家庭教育支援基盤形成事業（家庭教育支援のための地域人材養成の取組）として実施している。

(2) 実績

令和5年度は「だれにでもできるSDGs わたしにもできるSDGs」をテーマに、昨年度に引き続き立教大学経済学部郭洋春（かくやんちゅん）教授を講師として、9月から12月まで6回の日程で活動した。

□ 令和5年度家庭教育推進員活動状況

	日程	内容
1回目	9月28日	オリエンテーション～SDGsってなに？～
2回目	10月19日	身近なSDGsをさがしてみよう
3回目	11月9日	SDGs作戦会議①
4回目	11月30日	SDGs作戦会議②
5回目	12月9・10日	学習発表会
6回目	12月21日	あらためてSDGsを考えてみましょう

□ 学習発表会 各グループの取組状況

小学校名	テーマ	小学校名	テーマ
1 仰高・清和・西巣鴨	プラスチックゴミの分別	2 駒込・朝日	CO ₂ 削減クッキング
3 巣鴨・朋有・高南	遊んで学ぼうSDGs!!	4 豊成・池袋第一・南池袋	手放した洋服のゆくえ
5 目白・要・富士見台	エコなクリスマス ～紙ごみでつくるオーナメント～	6 長崎・椎名町・さくら	誰にでもできる私にもできる プラスチックリサイクル

□ 過去の実績状況

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
テーマ	つながりで広げる マチのワ	つながりで広げるマチのワ (オンライン開催)		SDGsを身近な ものに	だれにでもできる SDGs わたしにも できる SDGs
講師	大正大学人間学部教育人間学科 講師 齋藤 知明 氏			立教大学経済学部 教授 郭洋春 氏	

4. 家庭教育講座

(1) 概要

区立の小・中学校 PTA、区立幼稚園保護者が子どもや家庭を取り巻く様々な課題等について講座を開催し、家庭教育の推進を図るとともに PTA 活動や地域活動の活性化につなげる。

講座は PTA が自主的に企画・運営し区が 25,000 円を上限として補助金を交付し講座開催を支援する。

(2) 実績

令和 5 年度は人数制限はあるものの対面開催に戻す幼稚園、小・中学校が増えてきた。

家庭教育講座を開催した数も昨年度から増えている。

□ 令和 5 年度の開催状況

	学校名	タイトル (※)	講師	参加人数
1	仰高小学校	親子で遊ぼう「葉っぱカルタ」	東京大学理学部生物化学専攻 日本学術振興会特別研究員 宮本 通	25
2	駒込小学校	WAPPY 親子ヨガ@楽しみながら体と心と 命を学ぶ	こどもヨガプロジェクト WAPPY ヨガ主宰 石田 友美	44
3	巣鴨小学校	子どもの自己肯定感を育む言葉かけ	親業訓練シニアインストラクター アンガーマネジメントキッズ インストラクター 駒崎 春世	31
4	清和小学校	親子で身につけよう！子どもの防犯対策	防犯アドバイザー 京師 美佳	37
5	池袋本町 小学校	盲導犬講座 ～人と盲導犬が笑顔で歩く社会～	公益財団法人日本盲導犬協会	65
6	南池袋小学校	新元号「令和」を書いた茂住青邨先生と 書道を体験しよう！	書道家 茂住 青邨	85
7	目白小学校	人生 100 年時代を生きるための「脳の教養」 ～認知症予防を目指して～★	(株)エム CEO、ジョンズホプキンス 大学医学部放射線科教授 森 進	148
8	椎名町小学校	親子で学ぶお金の使い方 ～クイズとお小遣い帳で楽しく遊ぶ～	子どもマネー総合研究会 会長 豊田 眞弓	25
9	富士見台 小学校	親子でけん玉講座	公益社団法人日本けん玉協会 認定指導員 畑中 卓	62
10	池袋中学校	届く、伝わる、発声・活舌改善講座	声優、パーソナルボイスマンター 宇和川 恵美	26
11	池袋幼稚園	親子で自然体験	プロ・ナチュラリスト 佐々木 洋	87
合計人数				635

(※) ★は、オンラインで実施

□ 過去 5 年間の講座開催の状況

年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
開催学校数	16	1 (1)	6 (5)	9 (5)	11 (1)
参加人数	1081	879	303	652	635

(注 1) () 内の数はオンライン開催数 (内数)

5. 学校・通学路の安全事業

(1) 概要

園児・児童生徒が安全安心な学校生活を過ごすことができるよう、通学路及び学校内の防犯カメラの設置、登下校時の安全誘導、学校施設の警備・点検等、日常的な安全体制を確立する。

(2) 実績

① スクールガード養成講習会

対面形式実施及び講習会の映像をオンラインで配信

開催日：令和5年10月12日（水） 豊島区役所本庁舎 約90分

② 通学路合同点検

児童の通学路上の安全確保を図るため、学校・教育委員会・PTA・警察・町会等の関係者が合同で点検を実施。（令和5年度実績）

開催日：令和5年10月18日（水）～令和5年11月10日（金）

実施学校：駒込小学校・西巢鴨小学校・朋有小学校・池袋小学校・目白小学校・要小学校・富士見台小学校

参加者：教育委員会、学校、警察、PTA、町会、区関係部署、民生委員児童委員など

参加人数：100名（延べ数）

③ 区立学校施設のブロック塀等対策

平成30年6月の大阪北部地震において、小学校のブロック塀倒壊により児童が死亡する事故が発生した。これを受け、区ではただちに区立小・中学校及び幼稚園のブロック塀等緊急点検を実施し、点検結果に応じたブロック塀撤去等の対策を順次進めている。令和2年度は小学校2校及び中学校1校のブロック塀対策を実施した。緊急性の高いブロック塀対策（18施設49か所）は令和2年度内に対策を完了している。

なお、校舎等の耐震補強工事については、「豊島区立小・中学校の適正化第一次整備計画」を踏まえ、年次計画により順次実施し、平成20年度で完了している。

④ こども110番の家

募集方法：各小学校区単位でPTAが地域を回り協力を依頼。

プレート配付：区がプレートを作成し、PTAを通じて登録者へ配付。

保険加入：区が一括加入

登録件数：約1,170件（令和6年3月末現在）

登録情報：区ホームページ「としま安全・安心地図情報システム」に掲載。

- ・スクールガード…PTAや地域住民の方々による通学路の巡回パトロールや
危険箇所の監視など子どもたちを見守る学校安全ボランティア活動
- ・こども110番の家…子どもたちが危険に遭遇したり、困りごとがあるときに安心して
立ち寄ることのできる民間協力の拠点

- ⑤ としま学校安全安心メールの運用
登録件数：15,269 件（令和 6 年 8 月末現在）
- ⑥ 防犯ブザーの配付
区内在住の新 1 年生を対象に防犯ブザーを配付する。
購入数：1,700 個
- ⑦ 小学校入退室管理システム
小学校 1～3 年生が校門を通過すると保護者が登録しているメールアドレスに送信される。（令和 3 年度から希望する 4～6 年生も保護者負担により利用可能とした）
- ⑧ 小学校児童通学案内等業務
児童の登下校時に指導員を配置し、見守り活動を補完するとともに児童の安全を確保する。
配置箇所数：約 80 か所
- ⑨ 通学路表示（文表示）の設置
各小学校の通学路の電柱に、注意喚起として通学路の表示を設置し、児童の安全確保を行っている。
設置箇所数：約 900 か所

⑩ 学校防犯カメラの更新

校門等に設置している防犯カメラを更新し、園児・児童生徒等の安全・安心を確保する。

□ 学校防犯カメラの設置状況

設置年度	幼稚園(各園 2 台)	小学校(各校 4 台)	中学校(各校 4 台)	合計
平成 26 年		目白※1		1 校
平成 27 年	西巣鴨・池袋・ 南長崎	朋有・南池袋・ 要・富士見台・ 千早・高松・ さくら		10 校(園)
平成 28 年		仰高・巣鴨・ 西巣鴨・豊成・ 池袋・長崎・ 椎名町 池袋第三※1 池袋本町※1	池袋※1	7 校
平成 29 年		駒込・清和・ 朝日・高南		4 校
平成 30 年			駒込・西巣鴨・ 千登世橋・ 千川・明豊	5 校
令和元年			巣鴨北※1	1 校
令和 4 年		池袋第一※1		1 校
令和 5 年			西池袋※2	1 校

※1 改築時に設置

※2 平成 24 年度に設置した防犯カメラについて、対応年数が経過したため更新。

⑪ 通学路防犯カメラの設置

小学校の通学路に防犯カメラを設置（1校あたり10台）し、児童の安全・安心を確保する。

□ 通学路防犯カメラの設置状況

設置年度	小学校（1校あたり5台）	合計
平成28年	仰高・巣鴨・西巣鴨・豊成・池袋第一 池袋本町・池袋第三・池袋・長崎・椎名町	10校
平成29年	駒込・清和・朝日・高南・目白	5校
令和元年※1	巣鴨・清和・朝日・池袋第三・池袋・南池袋 目白・椎名町	8校
令和2年※1	仰高・西巣鴨・朋有・要・富士見台・千早 さくら	7校
令和3年※1	駒込・豊成・池袋第一・池袋本町・高南・長崎 高松	7校
令和5年※2	朋有・南池袋・要・富士見台・千早・高松 さくら	7校

※1 新たに東京都の補助金が設けられたため、1校あたり5台ずつ増設

※2 平成27年度に設置した防犯カメラについて、対応年数が過ぎたため更新